

北海道の印刷

11

第798号
2022年11月10日発行



《北海道遺産》
内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群
(函館市、伊達市など)

縄文文化の息吹を感じる遺跡ロマン

内浦湾沿岸は北海道と本州を結ぶ縄文文化の交易路で、函館市の南茅部地域には現在91カ所の遺跡が確認されている。また、大船遺跡や垣ノ島遺跡をはじめ、著保内野遺跡で発掘された「中空土偶」は北海道初の国宝に指定されている。伊達市の北黄金貝塚は、縄文早期（7000年前）～中期（6000～4000年前）の遺跡で、住居や全国的にほとんど例のない「水場の祭祀場」が発見されている。

（北海道遺産公式サイト <https://www.hokkaidoisan.org/> より引用）

【写真】北黄金貝塚（伊達市）

INDEX

- 3 令和4年度第5回理事会開催される
- 4 2022全印工連フォーラム開催される
- 5 第16回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション作品募集のご案内
- 6・7 全印工連DX推進事業「DX-PLAT」のご案内
- 8・9 全印工連特別ライセンスプログラム「Adobe Creative Cloud」新規募集のご案内
- 10 北海道印刷関連業協議会令和5年新年交礼会のご案内
- 10 IGAS2022のご案内
- 10 業界のうごき

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



この印刷物は、CSRに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。

下期事業スケジュールを決定 組合事業参加メリットを啓発

令和4年度第5回理事会開催される

令和4年度第5回理事会が、10月14日午後1時30分から、札幌市中央区の札幌パークホテルで、理事10人と監事1人が出席して開催され、下期事業スケジュール、令和5年新春経営者研修会の開催などを決定した。

理 事会は、定数報告の後、岸理事長が体調不良により会場での出席ができなくなったため、大和副理事長を議長に議事が行われた。

最初に報告事項として、

- (1)事業実施状況について、6月の第4回理事会以降の事業実施状況を北印工組、全印工連・関連団体に大別して説明された。
- (2)財務状況について、第2四半期（9月末）の中間決算について、貸借対照表、損益計算書、予算対比表、賦課金納入状況について説明され、細木・加藤監事による中間監査が10月13日に実施され、会計処理・内容は適切である旨の監査意見をいただいたことが報告された。
- (3)HOPE2022の開催結果について、初の平日開催となった9月7日・8日の両日、展示会に35社76小間が出展し、7セッションのセミナーが行われ、会期中2,487人の来場があったことが報告された。
- (4)日印産連「意見広告」について、日印産連と加盟10団体が連名で、日本経済新聞10月14日付朝刊全国版に意見広告を掲載し、印刷産業を取り巻く状況と価格を超える価値を提供していくことを訴え、価格転嫁への理解を求めたことが報告された。
- (5)令和4年度委員会名簿について、各支部から推薦された今年度の委員会委員について報告が行われた。

次に、議事に移り、

- (1)令和4年度下期事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、第33回北海道情報・印刷文化典拠大会の開催準備を柱として、それぞれの実施事業の内容・実施スケジュールが説明され、決定した。
- (2)全印工連特別ライセンスプログラムの普及について、全印工連特別ライセンスプログラム（Adobe Creative Cloud）が、12月1日から新契約となり、さらに安価で提供されることから、金銭的組合事業メリットをより享受できることから、普及活動を行うことを決定した。
- (3)組合事業参加メリットについて、組合事業に参加することにより得られる金銭的メリットについて項目別に説明し、各組合員の受けるメリットのシミュレーションを行った結果を提示し、各支部で事業参加を促していくことを決定した。
- (4)令和5年新春経営者研修会について、令和5年1月10日午後2時15分から同4時15分まで、札幌グ



ンドホテルで、PODメーカー4社によるパネルディスカッションを開催することを決定した。

- (5)令和4年度組合員台帳について、提出状況は88.8%であることが説明され、未提出組合員10社に対して各支部長の協力をいただき、100%の提出を目指すことを決定した。
- (6)新規加入賛助会員の承認について、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)北海道支社の加入を承認した。
- (7)組合員名簿の印刷発注について、組合員名簿の印刷について全組合員に公募を行ったところ、3社より応札があり、組合員との取引内規により(株)アイワードに発注することを決定した。
- (8)委員会の活動状況について、各担当委員長からそれぞれの委員会の実施事業・スケジュールなどの説明が行われた。

▶経営革新・マーケティング委員会（岡部委員長）

今期の事業としてはDX-PLATの推進のなかで、組合が作ったMISシステムについて周知を図る。事業承継事業は、印カレで5分程度の動画を配信している。現在は第5回まで掲載されている。

▶環境労務委員会（大和委員長）

労働法が半年に1度くらいのペースで改正されているので、周知を図っていききたい。下期地区協までに委員会を開催したいと思っている。

▶青年部委員会（齊藤委員長）

10月22日に全青協北海道ブロック協議会が開催されるので、各支部で参加をお願いしたい。

▶組織共済委員会（伊藤専務理事）

全国各県で組合員台帳の提出100%に向けて努力する。介護共済の周知を図っていく。

以上で、議事を終了し、各支部の活動状況ならびに現況について報告が行われ、理事会を終了した。

高付加価値コミュニケーションサービス産業へ進化

2022全印工連フォーラム開催される

2022全印工連フォーラムが、9月30日午後1時から、愛知県名古屋市の名古屋東急ホテルで全国から組合員310人が参加して開催された。

フォーラムは、午後1時から、理事長会・各常設委員会・全青協代表者会議が行われ、午後2時35分から全体会議が行われた。

全体会議で、滝澤光正全印工連会長は、「今回のフォーラムのテーマはDXである。近年、IoT、AI、ビッグデータ、ロボティクスなど新たなテクノロジーが登場している。こうした技術は、長期的・継続的に見ると企業を成長させる決定打ではなく、あくまでも促進剤である。企業が存続するうえで重要なのはビジョンとミッションの明確化である。受注請負型の業態から脱却し、各社それぞれの特性を活かした高付加価値コミュニケーションサービス産業への転換を目指すことである。その手段の一つとして考えられるのは全印工連が開発したDX-PLATである。DXは業務のデジタル化だけでなく、製品やサービスのデジタル化により、新規事業を構築することを指す。データを活用した業態変革、生産性の改善、業務の自動化・効率化による既存事業の変革などである。DX-PLATにより自社の得意な仕事を行い、稼働率を高めて収益を上げ、発注者側にも利益を還元する。それによる収益と余裕の時間が新たな価値となり、新たな事業を生み出す源泉になる。各社がさまざまに進化することで、印刷業界全体が多様性のある非同一化の状態へ進むことができる。独自の専門性を持った会社がDX-PLATにつながることで相乗効果も生まれる。DX-PLATを理解していただき各社の変革ツールとして活用いただきたい。共に新たな時代における印刷産業を高付加価値コミュニケーションサービス産業へと進化させ、引き続き、社会の重要なプレゼンスを確立していきたい」と全印工連メッセージを発信した。

次に、各委員会報告として、産業戦略デザイン室・カーボンニュートラルPT・経営革新マーケティング委員会・環境労務委員会・組織共済委員会・教育研修委員会・CSR推進委員会・全青協各県青年会代表者会議の内容・所管事業について、各委員長からそれ



ぞれ説明が行われた。

つづいて、DX事業パネルディスカッションが、「DX-PLATで手に入れよう『未来』という名の搭乗券～実践メンバーの思考と理想から読み解く印刷業の新次元」をテーマに行われた。

ファシリテーターは、江森克治氏（DX推進PT副委員長）、パネリストは、1色2色の四六全判・菊全判のオフセット印刷を中心に行う4社による協創プラットフォーム「1-2-Cコンソーシアム」の川瀬健二氏（カワセ印刷㈱）、4社で構成する「DMのプロ集団」の飯尾賢氏（㈱岐阜文芸社）、四国の印刷会社4社で構成する「DX四国」の権名津隆治氏（㈱明朗社）、全印工連が提供するMIS「BRAIN」の開発に携わり自社で使用している今井孝治氏（今井印刷㈱）の4氏が務め、それぞれのグループの概要と取組内容、今井氏からBRAINの使用実感について説明された。

次に、富澤隆久教育研修委員長から、「特別ライセンスプログラムの新規規約」についての説明が行われた。

つづいて、中本俊之広島工組理事長、宇都宮公德実行委員長が、来年開催の全日本印刷文化典広島大会への参加の呼びかけを行った。

第16回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 応募締切迫る!!

全日本印刷工業組合連合会は、「第16回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催する。

全日本印刷工業組合連合会は、各産業界および個々の企業の社会的責任が重要視されている現在、印刷業においてもその責任を果たすためのコンプライアンス活動が求められていることを踏まえ、「すべての人に優しく、誰もが快適に利用できること」を目的として、デザインや文字など、より多くの人に伝える情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン

(MUD) 活動」に取り組んでいる。

この取組をより強固なものにするために、今年も「第16回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催し、高齢者・障がい者や子ども、外国人などに対し、見やすさ・伝わりやすさに配慮したアイデアに富んだ作品を募集している。

応募期間	2022年9月1日(休)～11月30日(休)
募集作品	高齢者・障がい者や子ども、外国人などに対して、見やすさ・伝わりやすさに配慮したデザイン手法を用いて制作されたもの。 (例) カレンダー・地図・パンフレット・サイン・パッケージ・チラシ・ポスター・ラベル・カードゲームなど
募集部門	①グラフィックテクニック (DTP) 文字、組版、図表、イラスト、色使いなどを工夫した作品 ②商品企画 種別、分野は自由でMUDを使用したオリジナル作品 ③製本、加工技術 折、製本、形態など後加工で使いやすさに工夫をした作品 ※自社制作の成果物として既に流通している製品でも応募可能。 ※既成の自社作品について、MUDに配慮し再制作した“before and after”の作品でも構わない。 ※既成の作品の改善提案の場合は、知的財産権への抵触に注意すること。
応募資格	[一般の部] プロ・アマを問わず、どなたでも応募可能 [学生の部] 大学・短期大学・専門学校・高等学校に在学している学生・生徒
応募対象作品	2021年7月以降に制作されたもの
応募方法	作品1点とデータ1点 (CD-R、DVD、USB等の記録媒体にai/eps/jpeg/pdfのいずれかの形式でアウトライン化して保存したもの) を、出品申込書とともに送付する。 ※受賞作品に選ばれた場合、提出されたデータをもとに受賞作品集の制作を行う
出品料	応募作品1点につき、一般3,000円 学生は無料
作品応募先	公益社団法人日本印刷技術協会 「第16回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」係 〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11 電話03-3384-3111/FAX03-3384-3481
問い合わせ先	全日本印刷工業組合連合会 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館4階 電話03-3552-4571/FAX03-3552-7727

全印工連DX推進事業「DX-PLAT」のご案内

全日本印刷工業組合連合会は、受注請負型の業態から脱却し、組合員各社がそれぞれの特性を活かした高付加価値化コミュニケーションサービス産業への転換を目指すことのできる手段の一つとして「DX-PLAT」を開発した。

DX-PLATのねらい

デジタル化、ペーパーレス化の流れを受け、我が国における印刷需要は減少傾向にある。それに伴い、設備稼働率が悪化、供給過剰状態となって印刷の受注単価は下落し、営業利益率は低下している。

今、我々に求められているのは、このデジタル技術の進歩に抗うのではなく、これらを自分たちの武器に変えて、これからの社会に必要とされる新たな時代に適応した輝かしい産業へと変貌を遂げることである。すなわち、デジタルトランスフォーメーション（DX）である。

経済産業省において、DXは「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」とされている。

そのためには、最初のステップとして、各社においてMIS（経営情報システム）の導入などにより、まずは企業活動そのものを効率化、見える化する必要がある。

全印工連においても、東京都印刷工業組合で新たに開発した小規模印刷業向けクラウド型MIS「BRAIN」の提供や、NEC社の「SP-MULTI」の組合員向け価格での提供など、さまざまな形で各社への導入の推進をしていく。

そのうえで、次のステップとして、業界全体で供給過剰である現状を踏まえ、デジタル技術を用いて組合員同士の円滑な受発注を実現させる生産協調体制の構

築を目指していく。これにより、各社においては過剰な設備投資を見直し、生産設備の保有・投資リスクを低減させ、ヒト・モノ・カネのリソースを確保できる。

このステップを実現する目的で、全印工連において「DX-PLAT」を開発した。企業間の基本的なオーダーデータのやりとりを行う「JSP (Job Sharing Platform)」と、設備の状況を把握してスムーズな連携を行うための生産管理システム「JWS (Job Workflow System)」によって実現していく。

受注側企業の生産管理システムのデータと連動することにより、発注側ではあたかも自社設備のように納期・価格を手早く確認することができる。MIS等との連携をとることにより、発注側・受注側それぞれ、入力等の事務作業や確認事項を低減させられるというメリットも実現できる。またこの生産協調を通じて、情報交換をすることにより、製品提案力、そして「強み」の向上を狙うことができる。

そしてDX-PLATを用いた連携を行いつつ、この強みをさらに伸ばしながら、確保したリソースを用いて、「顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革する」すなわち「ソリューションプロバイダーへの進化」を実現すること、これこそが目指すべき第3のステップであり、真のDXの目的である。

新たな時代に適応した輝かしい産業へと変貌を遂げるため、是非ともDX-PLATの活用を検討いただきたい。

目指す姿

DX-PLATがもたらす変化

第1段階

MIS導入による
見える化と連携準備

全印工連においても、下記の実績を手掛けております。

中小規模向けMIS「BRAIN」

東京都印刷工業組合にて新規に開発・提供。
クラウド型でサーバ不要。低コストで導入可能。

中規模～大規模向けMIS「SP-MULTI」

NEC社製。実績があり、柔軟なカスタマイズが可能。
組合員向けにはパッケージ料金無償。

第2段階

DX-PLAT導入による
各社生産体制の最適化と
製品提案力の強化

- ▶ 発注側は自社工場の様に納期・価格・進捗を手早く確認
- ▶ 受注側は各種事務削減・売上拡大へ
- ▶ グループ内の生産協調と情報交換を通じて各社の強みの向上

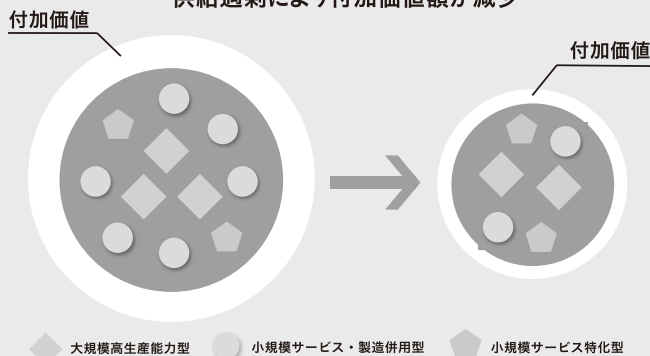
第3段階

新しい価値創造に向けた
新たな取り組み

高付加価値産業化、
事業領域の拡大

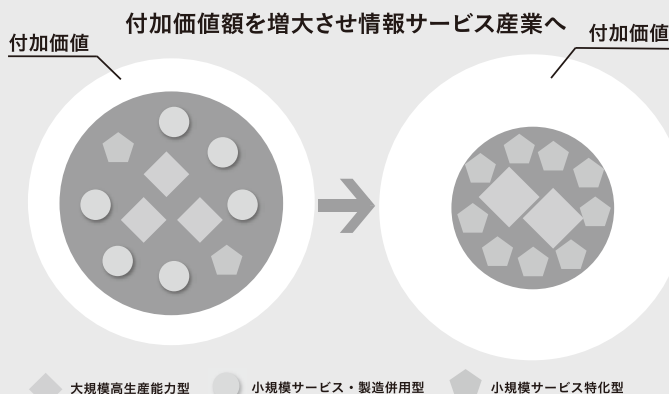
現状を放置すれば

供給過剰により付加価値額が減少



印刷市場は慢性的な供給過剰状態により、大規模高生産能力型はさらに生産能力を向上し寡占化していくのに対し、付加価値の高い受注ルートが破壊され、印刷産業が創出していた付加価値額が減少することが懸念される

個々の経営資源を得意分野に集中すれば



印刷産業全体を成長させるには、小規模サービス・製造併用型の企業を、小規模サービス特化型に移行させ、製造は大規模高生産能力型の企業に任せ、産業全体としての生産性を向上させ、付加価値の源泉を育成していくことが必要

印刷版DXジョブシェアリングのイメージ



高付加価値サービス提供産業への転換にはDX導入により、限られた経営資源を各社が安心して各社の得意分野に集中投下することを可能にする生産協調ができる体制を整えることが必要



Adobe Creative Cloud

全印工連 特別ライセンスプログラム



新契約募集プラン・特別価格のご案内

2011年に開始いたしました「全印工連特別ライセンスプログラム」は、本年で11年目を迎え、12月1日より、新契約(2022.12.1~2025.11.30)がスタートいたします。本年も一般流通価格より安価な全印工連組員企業限定の特別価格でご提供いたしますので、ぜひこの機会に、お申込みの検討をお願いします。

コンプリートプラン限定 初年度割引キャンペーン

初年度 **78,000**円/年(6,500円/月) 初年度のみ:1本につき23,244円割引

3年契約 2年目:82,800円/年 + 3年目:82,800円/年

コンプリートプラン価格比較(3年間合計) 303,732円(一般) / 243,600円(全印工連)

3年間で60,132円もお得!!

※表示価格は全て税抜です。

※2022年12月1日の契約時点でコンプリートプランを50本以上お申し込みの場合は5%の割引、100本以上お申し込みの場合は8%割引で、上記価格よりさらに割引いてご提供いたします。(いずれも割引対象はコンプリートプランのみ)

2022年10月
申込受付開始

契約期間 3年契約) ▶次項の参加条件 契約事項を必ずご確認ください。
2022年12月1日 » **2025年11月30日**

当カタログの内容は2022年7月現在のものです。申込等の詳細内容は、追ってご案内申し上げます。お得な内容をご検討の上、しばらくお待ちください。



Adobe Creative Cloud

全印工連 特別ライセンスプログラム

全印工連組合員企業だけの特別ロープライスを実現!

今回の3年契約は一般流通価格と比較して、コンプリートプラン1本で60,132円の割引を実現!
 前回の3年契約(2019年12月1日~2022年11月30日)より1本あたり計600円安くなります!

単体プラン、Acrobat Proは、現契約価格据え置きのままご提供!

※前回の3年契約(2019年12月1日~2022年11月30日)にご契約いただいた組合員様におかれましては、今回の新契約において価格の値上げが一切ございません!!

コンプリートプラン

※各プランの表示価格は全て税抜です。

20種以上の Adobe Creative Cloud 全アプリケーションをご利用できます。

Ps Ai Id Pr Ar Ae An Au Br Ca Ch Dw Ic Lr Pf Xd Ru Me

コンプリートプラン限定
初年度割引キャンペーン

1本につき
23,244円
OFF!!

コンプリートプラン法人版の一般流通価格
101,244円/年(8,437円/月)

1本につき
18,444円
OFF!!

78,000円/年(6,500円/月)

初年度(2022年12月~2023年11月)のみ年間4,800円割引にてご提供します!!

全印工連CC コンプリートプラン(2・3年目)
82,800円/年(6,900円/月)

初年度: 78,000円/年 + 2年目: 82,800円/年 + 3年目: 82,800円/年
243,600円(3年間合計)

一般流通価格: 303,732円(3年間合計)よりも
3年間で60,132円もお得!!

こちらもお得!

単体プラン

Adobe Creative Cloud
の中から必要なアプリケーションを1つずつ選
んでご利用できます。

Ps Ai Id Pr Ar Ae An Au Ch Dw Ic Lr Xd

単体版の一般流通価格
47,784円/年(3,982円/月)

1本につき
17,784円
OFF!!

全印工連CC 単体プラン
30,000円/年(2,500円/月)

人

Acrobat Pro の一般流通価格
22,560円/年(1,880円/月)

1本につき
2,160円
OFF!!

全印工連CC Acrobat Pro 単体プラン
20,400円/年(1,700円/月)

無料セミナーの拡充

実務者向けフォローアップ無料セミナーを
回数を増やして隔月6回開催でお届けいたします!

マイページの開設

専用の「マイページ」で、見積・発注・契約内容の確認など
各種手続きがWEBサイト上でご利用可能になります!

▶参加資格: 全印工連加盟47都道府県印刷工業組合に所属する「組合員企業」

(準組合員・賛助会員は対象外となります)

▶契約期間: 2022年12月1日より2025年11月30日まで(3年契約)

途中解約、契約途中のプラン変更、契約ライセンス数の削減、返金はできません。

▶参加条件: 本プログラムに参加するためには、以下の諸条件についての同意が必要になります。

- ① 契約期間中は全印工連がサブスクリプション(期限付き使用権)の管理を行います。
- ② 契約期間中に購入本数に対して使用する本数が減った場合(あるいは利用しなくなった場合)でも、契約ライセンス数を減らすことはできません。ただし、新規ライセンス数の追加購入は可能です。
- ③ ご利用にあたっては、利用開始時に製品への認証のためAdobeID(メールアドレス形式)の作成、登録が必要になります。

※Adobe Creative Cloud(CC)は、一定期間の使用権を購入する、サブスクリプション(期限付き使用権)形式の製品です。

詳細は説明動画をご覧ください。 <https://printing-college.com/>



全日本印刷工業組合連合会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館4F TEL:03-3552-4571 FAX:03-3552-7727

<https://www.aj-pia.or.jp/>



北海道印刷関連業協議会令和5年新年交礼会のご案内

北海道印刷関連業協議会の令和5年新年交礼会が下記により開催される。

新 年交礼会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止ならびにご参会者および関係者様の健康・安全に細心の注意を払い運営される。

今回の交礼会は、円卓着席（席指定）で会食が行われる。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、テーブル間を移動しての挨拶等は、自粛いただくことを原則としている。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため、検温・手指消毒・マスク着用に協力いただき、体温が37.5℃以上の方ならびに体調の優れない方の参加は遠慮いただくこととしている。

日 時	令和5年1月10日(火) 午後5時
会 場	札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）
会 費	12,000円

IGAS2022のご案内

Venture into the innovation — 新たなイノベーションへの挑戦 —

IGAS2022（一般社団法人日本印刷産業機械工業会・プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会共催）が、11月24日から同28日までの5日間、東京ビッグサイト東展示場で、「Venture into the innovation — 新たなイノベーションへの挑戦 —」をテーマに、210社1,849小間の出展で開催される。

I GAS (INTERNATIONAL GRAPHIC ARTS SHOW) 2022は、プリプレス、プリメディア、印刷、製本、紙工、ラベル、パッケージング、クロスメディア関連における最新の技術、サービス、ソリューションと、それによる新しいビジネス交流の場となる。

今回のIGAS2022では、印刷会社およびブランドオーナー企業からのパネリストによるビジネスに直結する具体的に有意義な情報を提供する「PANEL DISCUSSION」、IGAS全体のトレンドやさまざまな専門的な情報を提供する「TOUR」、中小印刷会社やプリントバイヤー、ブランドオーナーに向けて出展社が共同で印刷ビジネス拡大のためのヒントを提供する特設ゾーン「INNOVATIVE BUSINESS ZONE」等が実施される。

日 時	令和4年11月24日(木)～同28日(月) 10:00～17:00 (24日のみ11:00～17:00)
会 場	東京ビッグサイト東展示場（東京都江東区有明3-10-1）
入場料	2,000円 事前登録の場合無料 https://eventregist.com/e/5sR2bPxwu1T2

業 界 の う ご き

▶ 大丸(株)社長に芹田昭彦氏

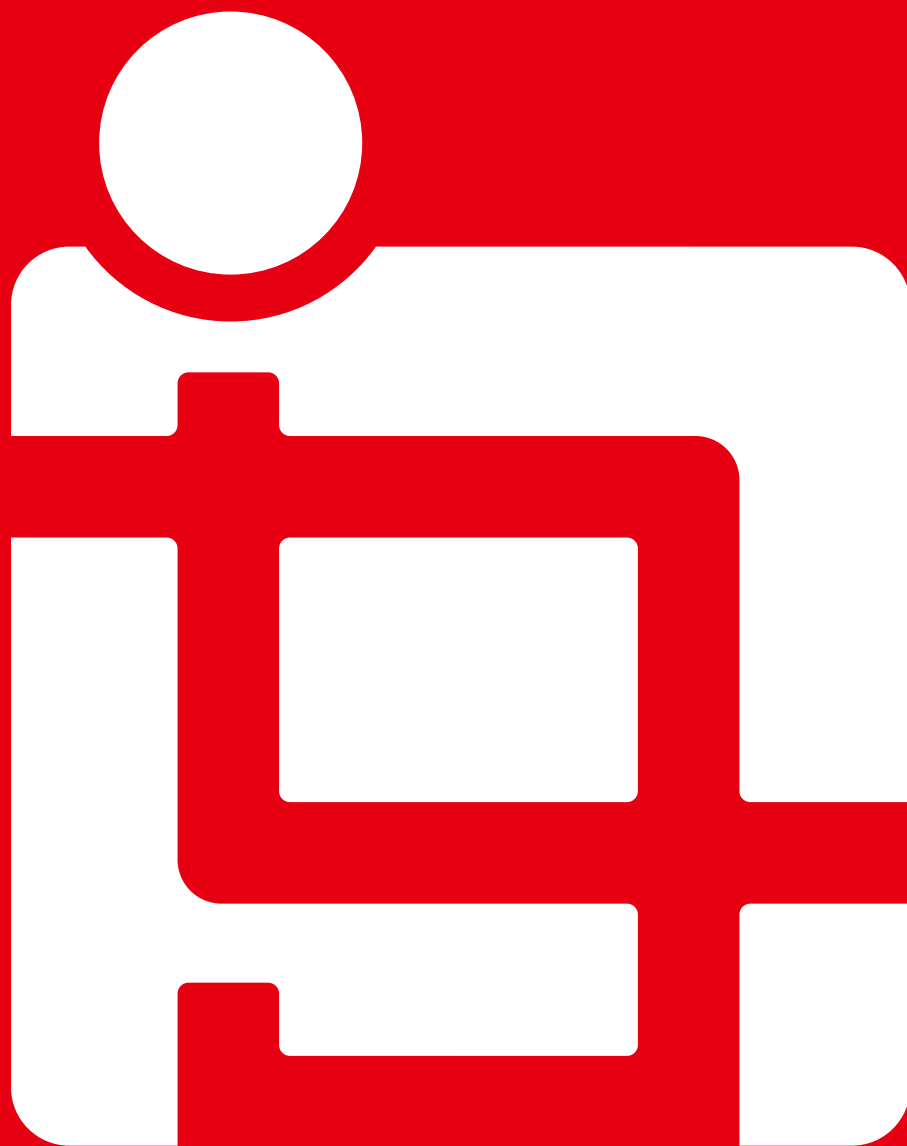
大丸株式会社（札幌市白石区菊水3条1丁目8番20号）は、このたび、藤井敬一社長が代表取締役会長に就任し、新しく代表取締役社長に芹田昭彦氏が就任した。

Venture into the innovation!

— 新たなイノベーションへの挑戦 —

2022.11.24^{TU}-28^{MON}

@TOKYO BIG SIGHT [East Halls]



INTERNATIONAL
GRAPHIC ARTS SHOW

IGAS2022

国際総合印刷テクノロジー & ソリューション展 [東京ビッグサイト 東展示棟]

主催：一般社団法人日本印刷産業機械工業会、プリプレス & デジタルプリンティング機材協議会 <https://www.igas-tokyo.jp>